

作新学院高等学校同窓会報

発行 作新学院同窓会 〒321-0027 宇都宮市塙田1-3-27 船田教育会館内 TEL028-621-9083 FAX621-3941



120周年記念行事「渡辺貞夫 音楽の旅」～地球の声に耳をすまして～ 一の沢キャンパス総合体育館にて (平成17年9月17日)



同窓会の皆さんへ

平成18年を迎えて

会長 柿沼 宏
(高8回卒)

同窓会の皆様お元気ですか、明けましておめでとうございます。今年も皆様方にとりまして良い年でありますようにお祈り申し上げます。

昨年は作新学院の創立120周年でございまして、盛大な記念式典が行われ、その他東武デパートのフロアをお借りしましての作新展を始め、数々の行事が行われましたが、多くの教職員・同窓会の方々の力強いご協力・ご支援を頂きまして、すべての行事が無事終了することが出来ました。厚く御礼を申し上げる次第でございます。

さて今年、作新学院の長い歴史の中で、昨年の創

立120周年を一つの通過点としまして、また新たな決意で学院の発展を期し、その歴史を築きあげて行かなければならないと思います。

そして学院の発展こそが、また同窓会の発展にも連なって行くことなのでございます。現在、私共の同窓会は会員数十万人と言われる一大組織で、全国屈指の同窓会でございます。

どうぞ会員の皆様方は、同じ同窓生として会員相互の連携を深め、交流の輪を広げて、お互いの協力と親睦を図って頂くと思います。今後の皆様方の益々のご活躍とご健勝をお祈り致します。



作新の風、またふたたび

作新学院 院長 船田 元

同窓会の皆様いかがお過ごしですか。昨年は作新学院創立120周年を迎え、関連行事を幾つか実施いたしました。同窓会の皆様にはそれぞれに積極的なご参加をいただき、心から感謝申し上げます。特に「作新展」では学院とともに共催していただき、写真や実物を多く展示することによって、作新の過去・現在・未来をリアルに体験できたのではないのでしょうか。

甲子園の春夏連続優勝や怪物江川君をはじめ、中日の落合、ラグビーの高岩、体操の五十嵐、自転車の神山、あるいはボクシングのチャンピオンなど、名選手のお宝が綺羅星のように並びました。また同窓生が所蔵する珍しい文物や、船田家に伝わる文豪の品々など、多くの来場者の目を引付けるものばかりでした。長い時間をかけての準備と展示品の収集・陳列など、同窓会の皆様のご労苦に改めて感謝申し上げます。5日間の来場者が延べ1万人に達するところでしたので、作新のPRに大いに役立ったと存じます。

さてこれらと時を同じくして、名誉院長の船田昌子が私学振興功勞により、「旭日中綬章」の榮に浴することとなりました。去る11月10日の国立劇場での勲章伝達式には私が代理で出席しました。本来であれば皆様方にご報告とお礼の会を催すべきところですが、本人は長く体調を崩して出席することが叶いませんので、同窓会新年成

人祝賀会などの際にご報告申し上げることをお許しください。

名誉院長は船田讓が栃木県知事に就任したのをきっかけに、学校の仕事を本格的に始めました。それから30年、本人にとってはあっという間だったと思いますが、第2次ベビーブームによる生徒急増期と、少子化時代の減少期という二つの困難を何とか乗り越えてきました。生徒減少はなお続いていますが、「作新民」という建学の精神と「一校一家」という校風をあらためて喚起して、私学冬の時代を何としても克服していきたいと、名誉院長共々決意を新たにいたしました。

同窓会の皆様には、120周年を記念して今後たとえば10年に1度くらい学院を訪問され、旧交を温め愛校精神を高めていただく機会を、学院側として企画していきたいと存じます。その際には皆様のご協力を宜しくお願いいたします。同窓会の皆様の一層のご健勝を、心からお祈りいたします。





創立120周年と叙勲の喜びを胸に

名誉学院長・高等学校長 船田昌子

昨年は作新学院が下野英学校として産声を上げてから、ちょうど120年になりました。学院内では例年の創立記念式典ばかりでなく、文化祭や体育祭も120年に因んだ内容を盛り込みましたし、世界のナベサダさんをお招きしてのトークとコンサートなど、新たなイベントも華を添えました。

特に同窓会の皆様には東武百貨店で開催された「作新展」に、多大のご協力をいただき、作新の過去・現在・未来を一堂に展示することが出来、延べ1万人の来場者をお迎えすることが出来たことは、本当にうれしいことでした。私は直接現場に伺えませんが、のちほど出展物を写真で拝見しました。

甲子園の春夏連覇のパレード、ライシャワー米大使の来校、女子部本館の炎上など、大変懐かしい写真も見る事が出来ました。また同時に作新の未来を背負う若い生徒さんたちの夢を綴った冊子も読んで、未来への希望を胸一杯に吸い込むことが出来ました。あらためて関係皆様のご苦勞に心から感謝申し上げます。

さて時を同じくして、私は秋の叙勲におきまして、囃らずも旭日中綬章という叙勲の榮に浴しました。皆様からの早速のご祝意に心から感謝申し上げます。30年も前の昭和50年、それまで理事長だった夫の

船田讓が栃木県知事に就任することとなり、急遽私が作新の切り盛りをする立場になりました。爾来、私学経営と県内私学団体の発展のために、微力を尽くしてまいりました。

当初は右も左も分からず、ただがむしゃらに毎日を過ごしておりました。ストレスが高じて体中にじんましんが出ることもありました。しかし作新の将来を考えて、「英進部」や「中高一貫コース」の創設、小学部と中等部の再興など、現在の作新の基礎をつくることに腐心しました。私個人の力はちっぽけでしたが、多くの皆様の後押しがあってはじめてこれらの仕事も軌道に乗りました。

楽観的過ぎるかもしれませんが、教育とは「人を信じること」だと思います。教師と生徒の関係は、親子関係のように血がつながったものではありません。お互いの信頼関係が全てであり、それがなければ教育は成り立ちませんし、それによって親子関係以上の強い絆が結ばれることもあります。

いま私学は生徒減少の荒波に苛まれていますが、そのような教育の原点に立ち返ってこれからも頑張っていく所存ですので、同窓会皆様のさらなるご支援ご指導を宜しくお願い申し上げます。

ごあいさつ

高等学校 副校長 上野隆宏



同窓会の皆様とともに新春を祝うことができ、誠に嬉しく思っています。常に暖かい気持ちで、学院に接していただき感謝申し上げます。特に昨年は創立120周年記念行事の「作新展」～いまこそ、一校一家～の開催にあたり、多くの同窓生のご協力を得て大盛況をおさめることができました。高校を代表して、心から厚く感謝とお礼を申し上げます。

時代に即応した教育内容の改善を勤め、伝統ある男子部・女子部普通科を男女共学の総合進学部へと衣替えし3年が経過し、今春初めての卒業生を送りだします。進学については諸先生の熱意が実り、大学合格者、専門学校・専修学校への進学者、就職者についても、期待以上の成果をおさめることができる状況となりました。

さらに新年度へ向けて情報科学部の再編計画を準備中で、大きな改善を考えています。既に昨年オープンした「エッグステージ」は、高校生による店舗の経営を目的としています。仕入から販売まですべて高校生が実践し、いずれ二十歳代の経営者を誕生させたいと教員が熱心に指導しています。再編計画の一部を先取りしたわけです。注目してほしいのは、自動車整備士養成科の新設と普通科総合選択コースの開設です。前者は県央・県北では初めてで、多くの中学生から期待されています。また後者は普通科に在籍しながら、商業や工業と家庭科に関する実業教育科目を選択履修することができます。多様化する中学生のニーズに応えることができるでしょう。



創立120周年を迎えて

同窓会名誉会長 推津弘之
(下41回卒)

同窓会の皆さん、お元気ですか会報誌も18号が発行されました。18といえば明治18年船田兵吾先生が下野英学校を創立され昨年は60年に1度という酉年、常に大きな変革がある年ともいわれておりますが、その年に創立120周年を迎えました。私達の作新学院も創立時より約60年経過した昭和22年には(財)作新学院と改稱され校舎も現在の一の沢キャンパスに移転し大きく脱皮をしました。それからまた約60年後の昨年120周年を迎え、再び大きな脱皮をする時になりました。既に幼稚園から大学院までの総合学院となり、今やその卒業生は約10万人余となりました。学院は常に新しい時代に対応できる人材育成、社会のためになる人づくり等を目指してきましたが、今では各分野で多くの人材が輩

出され、それぞれ活躍をされておりますことは力強いかぎりです。特に9期目の船田代議士、同窓生で初当選の亀岡代議士や県議会でも同窓生の木村議長、石坂副議長の誕生、そして福田知事や佐藤宇都宮市長の初当選等私達には心強いかぎりです。更にこのたびの船田昌子先生の旭日中綬章という立派な叙勲等は慶賀にたえません。

私達はこのたびの120周年記念を機に今後予想されるきびしい現実に対応するためにも、まずお互いに意識改革を進めながら大きな脱皮を更にはかることが大切です。未来に夢と希望とロマンを持ち、あせらず、おごらず、あきらめずに共に頑張ってみましょう。

「作新展」で伝統の力を鼓舞

同窓会前会長 和田藤吾
(高1回卒)



明けましておめでとうございます。昨秋は母校作新学院の創立120周年を迎え、東武百貨店で「歴史と伝統の作新展」を開催、1万人を超える入場者を数え大盛況でした。

さて、平成18年の新春を迎えて恒例の「作新同窓会の新年会、同窓の新成人祝賀会」を開催します。10万人を擁する卒業生と新成人が一堂に会して苦楽をともにした学院生活や未来に夢を抱いて語り合う“集い”は同窓会のメイン・イベントです。

下野中、作新女が一の沢キャンパスに統合(昭和22年)し、作新学院が産声をあげて早くも60周年。幼稚園から大学までの一貫教育の総合学院が確立しました。高校も男女共学となり、学科の新設など「作新民」の建学の理念が受け継がれています。

昨年は選挙の年でした。船田元学院長が衆院選で

9度目の当選、また亀岡偉民氏(江川卓投手とバッテリーを組む)が苦節18年、5度目の挑戦で作新高校卒業生で初めて代議士パッチをつけました。地方統一選では船田派の福田富一知事、佐藤栄一宇都宮市長が誕生しました。県議会では木村好文、石坂眞一の卒業生コンビが正副議長を独占するなど“船田王国”が復活。同窓会も一丸となつての支援体制でした。

新年祝賀式を機に“21世紀の世直し”のテーマは作新の校風「一校一家」と“共生の時代”とマッチしています。個々人がまず心を癒して励まし合い助け合って安心・豊かな社会づくりを……。学院、同窓会がスクラムを組んで、さらなる作新学院の飛躍、発展を！。

学院創立 120 周年によせて



衆議院議員

亀岡 偉民

(高26回卒)

作新学院創立120周年誠におめでとうございます。

この輝かしい伝統を持った学校を卒業できた事を誇りに思います。そして私個人としても、この節目の年に国会議員になれたことを心より感謝したいと思います。

私が入学した頃は船田小常先生がいらっしゃって、野球部をかわいがって下さいました。そして、江川卓という投手とここで出会い二度も甲子園に出場することができました。野球では本当に素晴らしい経験をさせていただきまし、在学中には多くの仲間と、多くの先生方、そして学校関係者の皆さんに出会うことができました。

まさに「一校一家」の精神の中で私は育てていただきました。早稲田大学へ行っても、社会人になっても、そして18年間に及ぶ政治浪人時代も作新の多くの仲間を支えられました。私の人生の出発点が作新にあると言っても過言ではありません。そんな素晴らしい学校が作新学院です。

先日、120周年の記念式典にて話をする機会をいただきました。

作新学院の生徒として胸を張れ！そして恥のない行動を取れ！君たち自身がこの学校を作っていくのだから、と。素晴らしい先生方と「一校一家」の精神を受け継ぎ、思い出多い学び(家)舎にしていけ、と私は思いのたけを在校生に話をさせていただきました。

私も、野球部の山本先生や渡辺監督(当時)さらには鈴木部長や多くの先生に胸を張って教え子だと言っただけのように、また、在校生の目標となれるような先輩として、国家国民のために働く政治家になるよう邁進していきたいと思ひます。

同窓の皆様には「一校一家」の精神を忘れずに、頑張りましょうという言葉を持って120周年のお祝いの挨拶とさせていただきます。

ホンダベルノ栃木中

<http://www.hondanet.co.jp/vt/>

専務取締役 高野 巖〔昭和29年卒〕

宇都宮市台新田1-1-370 ☎028-645-2621

有限会社インテリアアール タカノ

高野 博子〔昭和26年卒〕

宇都宮市上戸祭3-3-2 ☎028-643-6231



栃木県議会議員

木村 好文

(高13回卒)

作新学院同窓会会報誌18号発刊にあたり、一言お祝いのことばを申し上げます。

本学院が、このたびめでたく創立120周年を迎えられました。本学院の卒業生であります私にとりまして、誠に感慨深く、皆様方と共に創立120周年を祝うことができましたことを、大変嬉しく思っております。

この場をお借りしまして、歴代の学院長をはじめ、諸先生方の教育に対する御熱意と、同窓生並びにPTAの皆様方の深い御理解と御協力に対し、深甚なる敬意と感謝の意を表する次第であります。

本学院は、明治18年に下野英学校として創立され、時代の変化とともに成長を重ねられ、現在では、幼稚園から大学院までを含めた総合学園として、名実ともに百二十年の歴史にふさわしい発展を遂げられております。

本学院で教育を受けた同窓生の皆様方が、地域社会はもとより県内外に雄飛され、様々な分野で御活躍されていることを伺いますと、誠に心強く、私も、県民の負託に応えるべく議会の運営に全力を傾注する想いを、更に強くする次第であります。

どうか、皆様方におかれましては、会員相互の連携を強め、本学院の時代に即応した教育への取り組みに、更なる御理解と御協力を賜り、ひいては、本県教育の充実・発展につながりますことを御期待申し上げます。

結びに、本学院並びに同窓会のますますの御発展と、会員の皆様方の御健勝・御活躍を御祈念申し上げまして、お祝いのことばといたします。

大貫商店(紙一式)

早乙女ヒロ子〔昭和21年卒〕

宇都宮市二荒町9-3 ☎028-634-4131

落合東光園(造園・土木)

代表取締役 落合 功〔昭和37年卒〕

上三川町川中子921 ☎0285-56-3751



学院創立120周年

作新展

120周年記念事業の最後として、東武宇都宮百貨店で10月20日(木)～24日(月)まで、同窓会と共催で、エリア1. 作新学院の歴史と船田家の紹介。エリア2. 作新学院の現在と未来。エリア3. 教育・文化・スポーツの足跡。エリア4. トーク・イベントコーナー。エリア5. 広報・その他の分野に分け盛大に開催された。

長い歴史の中で、学院外での記念事業を開催した前例がなく、スタートから暫くは「道なき道を歩む」ようで、成功するのかとても不安でしたが、無事成功させることが出来ました。その要因の第1は、船田元先生自らの御指示により、船田家の貴重な資料を沢山提供していただいたこと。次に学院の凄い伝統・史上初の春夏連続優勝を果たした硬式野球部とエースの八木沢荘六氏。インターハイ学校対抗優勝7回チャンピオン23人は日本一を誇るボクシング部。同じく学校対抗優勝2回、国体総合優勝1回、個人優勝14名を輩出し、プロで多数のOBが活躍している自転車競技部。全国高校演劇大会で最優秀賞に輝いた演劇部。卒業生ではオリンピック体操競技で金メダルを獲得し、現在新潟大学教授の五十嵐久人氏。ラグビー競技3年連続日本一を続けるNEC高岩映善監督などから、金メダルをはじめ記念品・写真・新聞・ビデオテープ等が展示しきれない程提供されたこと。そして、それらの有名人と関係者がトーク・イベントコーナーに出演し、多く



の観客を集め展示会を盛り上げたこと、同窓会役員や募集した一般同窓生からも旧下野中学校時代の校章・アルバム、野口雨情に関する貴重な展示物が集ったこと。また、幼・小・中・高・短大・大学・理美容等各設置校の特色ある装飾や生徒の「未来」に関する作文・絵画の出品も大きな貢献をしています。

最後に、教職員実行委員23人の優れた能力と「絶対に成功させるぞ」の強い情熱があったこと。同窓会の関係で夜7時からの会議がありましたが、欠席者は0でした。それに加え、共催である同窓会の心強い御支援と御協力がありましたので成功することが出来ました。いろいろな人々と会い、貴重なお宝に接し、多方面で優れた成果を上げている作新学院は素晴らしい学校であることを再確認いたしました。

記念事業実行委員長 川島八郎



創立記念式典

本年は、創立120周年の節目ということで、平年と多少異なる記念式典となるよう企画をしました。式典を2部構成とし、第1部の式典はプロのアナウンサー・オペラ歌手の起用で、厳粛なもの。第2部を記念セレモニーとして、生徒の参加やタイムカプセル・記念碑の除幕式、文化祭の開会式テープカットとしました。第2部では、天候に惑わされましたが、所期の目的を達成することができました。また、本年は、日頃、生徒たちの自転車の指導やで迷惑等をおかけしている作新学院近隣の自治会の会長さん(本年は、桜地区・一

の沢地区)に学院の教育活動や学校行事の一端を理解していただくために自宅手渡しで式典・文化祭への招待状を届け、参加をしていただきました。そのほか高等学校全教員に依頼し、卒業生への参加を呼びかけていただき、多くの参加者を募ることができました。参加者には、文化祭で使用できる金券を発行し、多くの方に参加していただき、喜んでもらえたと思っております。

創立記念式典 委員長 増田利夫

「作新展」いまこそ一校一家

荒川歯科クリニック

理事長 荒川 敏明 [昭和48年卒]
宇都宮市西川田本町4-1-3 ☎028-645-5072

新里建設

取締役副社長 新里 治久 [昭和57年卒]
宇都宮市下砥上町1544 ☎028-658-2345

昭和車輛 (重機の修理・販売)

代表取締役 坂本 功樹 [昭和50年卒]
宇都宮市上大曾町348 ☎028-624-8553

安藤設計 (一級建築士事務所)

<http://www3.ocn.ne.jp/~andoarc/>
代表取締役 安藤 英夫 [昭和43年卒]
専務取締役 安藤 寛樹 [昭和45年卒]
宇都宮市山本1-3-14 ☎028-625-2875

サンライズキョウヤ (各種新中古車販売)

<http://www.skyoya.jp>
沼尾 雅由 [平成4年卒]
宇都宮市屋板町564-1 ☎028-657-0210

イマイズミ (宝石・貴金属)

<http://www.imaizumi-j.com>
代表取締役 今泉 臣夫 [昭和37年卒]
宇都宮市仲町1-13 ☎028-622-3573

栃木県・熟田郵便局

局長 塚原 正文 [昭和38年卒]
高根沢町伏久119 ☎028-676-1000

とらや (和洋菓子販売)

代表取締役 柿沼 宏 [昭和31年卒]
宇都宮市西1-3-6 ☎028-636-5585

硬・軟式野球とも健闘

全国高等学校総合体育大会17部活90名出場

運動部

◇硬式野球部◇

第57回春季関東地区高校野球大会が、5月14日から18日まで埼玉県大宮公園野球場などで行われ、強豪を次々と打ち破り、32年ぶり[怪物江川卓投手・亀岡偉民衆議院議員(旧姓小倉)バッテリー以来]3度目の優勝を果たした。



第57回春季関東地区高校野球大会

民衆議院議員(旧姓小倉)バッテリー以来]3度目の優勝を果たした。

◇卓球部◇

第55回関東高等学校卓球大会が6月4日、5日と横浜文化体育館において行なわれ、佐藤正幸・柴田健一組が大接戦の末、初優勝を飾った。

◇自転車部◇

〈男子〉関東大会学校対抗優勝
 ケイリン優勝(山崎真之助)
 スクラッチレース優勝(青柳憲輝)
 〈女子〉2kmインディヴィデュアルパーシュート優勝
 (針沼千紗子)



関東大会学校対抗優勝

◇ボクシング部◇

関東大会学校対抗準優勝、フェザー級優勝(田村亮一)

全国高等学校総合体育大会 8月1日~20日まで

千葉県の幕張メッセを中心に開催された。本校からは17の部、90人の選手が出場、主な成績は次の通り。

- 「自転車部」スクラッチ、2位(青柳)
- 「ボクシング部」フェザー級3位(田村)
- 「飛込」インターハイの最終日を飾る高飛で3位(上野)
- 「陸上部」5,000mレース5位(宇賀地)
- 「空手部」男子団体組手において5位、これは栃木県代表初の快挙である。

第60回国民体育大会

- 「弓道競技少年男子」遠的優勝(加藤)
- 「陸上」5,000m3位(宇賀地)
- 「軟式野球」

岡山県高梁市なりわ運動公園野球場で行なわれた国民体育大会で6年ぶり3回目の優勝、又11月4日~11月7日まで行なわれた秋季関東大会において2年ぶり12回目の優勝。
 「パワーリフティング部」全日本高等学校選手権大会の女子個人で56kg級の星野有喜、男子67.5kg級で鈴木安理がチャンピオンに輝き知事表彰を受賞。



遠的優勝(加藤)

サンライズキョウヤ(鬼怒川京屋ホテル)

沼尾成七〔昭和37年卒〕

自宅：宇都宮市石那田町1817 ☎028-669-2127

坂本商店(業務用青果・漬物製造卸)

代表取締役 坂本 昭〔昭和31年卒〕

宇都宮市京町3-4 ☎028-633-4003
 FAX 028-632-9148

御菓子司 枳金

<http://www.masukin.com/>

大 淵 皓 之〔昭和33年卒〕

宇都宮市平曲師町3-9 ☎028-633-2769

元氣の里(特別養護老人ホームケア・ハウス)

事務長 大久保 好枝〔昭和39年卒〕

宇都宮市幕田町1456-1 ☎028-655-2611

全国上位の輝かしい実績

吹奏楽部・かるた部・書道部などの活躍が顕著

文化 部

吹奏楽部が、東京都文京区で開催された第11回日本管楽合奏コンテストのB部門(36人以上の大編成の部)において、最優秀賞を受賞した。予選を経て全国から選抜された35団体が競い合った同大会で、演奏の完成度はもちろんのこと、新たな楽器編成への取り組み方や、演奏の視覚的効果に関する研究が大いに評価されての受賞であった。また、神奈川県横須賀市で開催された第11回関東吹奏楽コンクールのA部門(50人以上の大編成の部)では、2年連続7回目の金賞受賞を果たした。



最優秀賞に輝いた日本管楽合奏コンテストの演奏

この大会は、日本テレビ系番組「所さんの笑ってこらえて」でも取り上げられ、入場制限が出るほどの高い関心が寄せられた。

かるた部では、滋賀県大津市で開催された第27回全国高等学校小倉百人一首かるた選手権大会D級において、4位入賞を果たした関友里加の健闘が光った。また、青森県青森市で開催された第29回全国高等学校総合文化祭小倉百人一首かるた部門におい



全国4位入賞の関友里加

て、嶋根歩実が栃木県選抜チームの一員として出場。強豪校を相手に、ほぼ互角の勝負を展開した。

書道部では、第29回毎日全国学生書写書道展における席書の部で、野沢詩織が書写検会長賞(高校2年生の部で6位)に、鈴木瞳が毎日新聞社賞(高校2年生の部で7位)に輝いた。鈴木さんは、第21回全国硬筆コンクールでも日本硬筆特別大賞を受賞している。さらに、第38回下野教育書道展(全体の応募総数は82,224点)では、中原蘭と斎藤瑞加が高校の部での2位にあたる特選に、中谷隆弘が同5位にあたる準特選にそれぞれ選ばれ、団体としても「作新学院高等学校」が最高賞である栃木県知事賞を受賞した。



下野教育書道展にて(左から中谷・中原・斎藤)

演劇部は、第27回栃木県高等学校総合文化祭演劇研究大会において優秀賞に輝き、今年14日から開催される関東大会への出場を決めている。

囲碁部は、第29回全国高等学校囲碁選手権大会栃木県大会で、男子団体が悲願の初優勝を飾った。女子団体も準優勝の成績をおさめ、さらに男子個人の部では石黒和哉が準優勝を果たすなど、レベルの高さをアピールした。また、第28回栃木県高等学校囲碁新人大会では、女子個人の部で中村友美が優勝を飾った。中村さんは、同大会での上位入賞を果たした池田和真・笹原麻希・渡辺亜加里とともに、関東大会へと駒を進めている。

電子技術部は、第13回栃木県工業関係高等学校ロボットコンテストのロボット相撲の部で3度目の優勝を果たした。

手塚・吉高神司法書士事務所

司法書士 吉高神 渡〔昭和45年卒〕
宇都宮市小幡2-6-10 ☎028-627-0521

田中正平司法書士事務所

司法書士 田中正平〔昭和27年卒〕
宇都宮市材木町2-3 ☎028-638-5020

東野観光(旅のことなら)

顧問 斎藤 操〔昭和37年卒〕
宇都宮市平出工業団地19-8 ☎028-660-2441

泉商販(全国有名味噌特約店)

代表取締役 大木利夫〔昭和35年卒〕
宇都宮市御幸本町4736-34 ☎028-613-1818

昨年度卒業生の進路状況

～ 国公立大・私立大合格者激増 作新大には136名合格 ～

平成16年度、高等学校の卒業生は、1686人であった。進路の内訳は、4年制大学へ629人、短期大学へ121人、予備校を含む専門学校へ487人が進学し、就職・自営・その他へ進んだ生徒は449人であった。卒業生数が減少したにもかかわらず、4年制大学の進学者数は前年度に比べ実数で約100人、延べ合格者数で200人増加し、一段と進学志向は強まったと言える。大学・短大の合格者数は、国公立大学43人、防衛大学校3人、私立大学814人、短期大学121人である。その内、作新学院大学には136人、同女子短期大学部には51人が合格している。国公立大学の合格者数は、前年比14人の増加であり、国立大学医学部医学科に合格者が出たことは特筆に価する。その他の合格大学は、東北大学、北海道大学、筑波大学、東京外国語大学、東京学芸大学、横浜国立大学、宇都宮大学などである。私立大学でも早稲田大学に2人、上智大学に3人、明治大学に15人など、多くの合格者を出すことが出来た。また難化の一途をたどる医歯薬系大学には獨協医科大学の2人を含め合計25人が合格している。

平成17年度入試は旧教育課程最後の入試となった。受験人口の減少に伴って、志願者数は国公立大学で前年比95.1%、私立大学で前年比97.2%であったが、平成18年度から新教育課程入試になるという焦燥感から、受験生の安全志向がみられた。国立大学では一時アラカルト入試(受験科目数の少ない入試)を採用する大学が多数あったが、平成17年度入試では多くの大学が文系6教科7科目、理系5教科7科目を課した。また、平成18年度入試から6年制へ移行する薬学部は、4年制としては最後の入試となるため注目されたが、実際には私立大学薬学部の定員が約3,000人増加したことが影響し、受験倍率は前年をやや下回った。その他の学部は前年と大きな違いはなかったようである。

専門学校の進路状況は、世相を反映して、自動車整備・スポーツインストラクター・コンピュータ・美容・福祉関係の伸びが著しい。厳しい入試にも拘らず、看護・理学療法・臨床心理学など医療関係の人気は例年通り

平成16年度 卒業生進路先一覧 ()内は未進学者数

	卒業生数	4年制大学	延べ合格者数	短期大学	専門学校	就職	自営・家事従事	
英進部	437	268	557	51	87(34)	1	1	
男子部・女子部	839	279	221	56	273(9)	225	35	
情報科学部	流通経済科	132	28	28	3	34	56	11
	情報科	90	28	28	2	28	26	6
	電気科	53	8	8	0	9	33	3
	電子科	24	3	3	0	13	8	0
	美術デザイン科	55	15	15	1	23	7	10
	生活科学科	56	0	0	8	20	16	11
	計	410	82	82	14	127	146	41
合計	1686	629	860	121	487(43)	372	77	

であった。また不況のために進路変更を余儀なくされた生徒が目立ち、昨年に比べ県内専門学校への進学率が増加したことも特徴のひとつである。

就職については、問題化しているニートやフリーター対策として、早い時期からハローワーク・商工会議所主導で、「就職サポートガイダンス」「合同職業トークセッション」等が実施され、本校生徒も積極的に参加し、意欲的に就職活動に取り組んだ。本校への求人募集企業は552社(昨年496社)であったが、生徒への「求人情報」は学内ランを利用してコンピュータで閲覧できるなど、より詳細な情報をスピード化して配信している。また、就職指導委員会は、県内の就職情報交換会や各種研修会に積極的に参加し資料収集と状況分析、独自の求人開拓などを行った。その指導と早期対策が功を奏し、就職希望者372人全員が就職を果たしたことは喜ばしい限りである。

今年度から、進学指導部・就職指導部とも新体制となり、受付窓口も一本化してスムーズな進路指導体制が整った。平成17年度は、英進部・総合進学部・情報科学部の3部体制となっはじめての卒業生を送り出すことになる。創立120周年の長い伝統を大切にしながらも日々改革を加え、今後も生徒一人一人の志望・適正・能力を把握したきめ細やかな指導で一層の成果を上げるべく、学習・生活・進路の各指導分野において工夫と努力を重ねていきたいと考えている。

花と園芸

(株)藤野グリーンセンター

代表取締役 藤野善勝〔昭和35年卒〕
宇都宮市さつき2-3-5 ☎028-653-8660

金田商会

代表取締役 金田真麒〔昭和35年卒〕
宇都宮市松原1-5-5 ☎028-622-1846

新三の「おいしい薄皮餃子」

<http://www.shinza.co.jp/>

代表取締役 鈴木郁夫〔昭和24年卒〕
宇都宮市今泉3-12-30 ☎028-622-8337

川口写真館

代表取締役 川口修一〔昭和44年卒〕
宇都宮市北一の沢21-19 ☎028-622-4641

文化厚生部 活動報告

部会長 福原 洋
(高15回卒)

昨年、作新学院は創立120周年という大きな記念すべき年でありました。記念行事の主な催事としては10月20日～24日の5日間、東武宇都宮百貨店で開催された「作新展」が大きな目玉でもあったと思います。卒業生ほか沢山の入場者で会場を埋めつくし、学院の歴史を振り返り、未来を考えるブースもありました。

同窓会の行事一環として、昨年9月24日～25日学院のグラウンド内において文化祭に出展し同窓生が持ち寄って下さった品物を即売した。宇都宮餃子でも有名な「新三」さんの餃子を実演即売し長蛇の行列で大変な人気でもあった。

11月13日は「江ノ島と紅葉の古都、鎌倉を訪ねて」—青春時代に戻ろうよ—の案内を出したところ早いうちにバス2台は定員をオーバーの盛況ぶりでした。朝7時に校門を出発しバスの車中ではゲーム(豪華商品)

遊びをした。江の島水族館を見学し昼食は江ノ島で特別料理「海の幸」を舌鼓しました。鎌倉では自由散策



文化祭出展

を行ない、出発時には両手にお土産物を一杯持ってバスの中へ入って来た方もおりました。帰りのバスの中はカラオケ大会が始まり数名のセミプロによりマイクの休む事はありませんでした。

例年にもまして年々参加者は若返り、特に今回は美男、美女が多かったです。参加者の皆さまには部会を代表して御礼を申し上げます。ありがとうございました。

例年にもまして年々参加者は若返り、特に今回は美男、美女が多かったです。参加者の皆さまには部会を代表して御礼を申し上げます。ありがとうございました。



新江の島水族館

小山市市議会議員

大山典男〔昭和38年卒〕
小山市小宅449 ☎0285-37-0539

風見鶏

<http://www.toritei.com/>

今泉知明〔昭和49年卒〕
宇都宮市中央1-6-9 ☎028-633-4105

作新学院 親交会

会長 堀井 毅
宇都宮市一の沢1-1-41 ☎028-648-1811

三信電工

<http://www.sanshin.ne.jp>

常務取締役 福原 洋〔昭和38年卒〕
宇都宮市川俣町1056 ☎028-621-0123

平成17年度 創立120周年記念学院祭ブース出展に思う

事務局長 **鈴木 勲**
(商6回卒)

今年の学院祭は、創立120年という記念すべき年を迎え、昨年に比べ早い時期から学院祭に対し同窓会文化厚生部の部員の皆さんが参加を決定し準備を致しました。昨年好評だった餃子の販売をメインとし、今年度は特に焼餃子に販売を絞り、皆様より好評をいただきました。そのほか毎年女子部のご協力によるバザー・果物(梨等)の販売に一生懸命楽しみながら参加致しました。今回参加した同窓生は学院の行事及び、在校生とのふれあい等にも参加し、その意義は充分達成出来たと思っております。感謝いたします。

今年度の学院祭のテーマは「羽ばたこう**あらたなるステージへ」と決められ、これまでの校風や建学の精神を更にリニューアルしていくという心意気を感じてほしいとのメッセージであり、これらは120年作新学院の歴史の中にずっと伝えられている「一校一家」の精神に通じるものだとお聞きし、更に感銘を覚える所であります。

我ら作新学院同窓生も学院祭を通し一校一家の精神

魅力ある作新学院同窓会

組織財務部部長 **安藤 寛樹**
(高22回卒)

“魅力ある同窓会”なかなか難しいテーマかな?私36年前に卒業し、長年同窓会活動に参加してきた多くの先輩方に社会人としてのマナーやいろいろ遊び方などをご指導いただき、学校や職場とは違った上下関係を勉強させていただいた。現在10万人を超える同窓生と、毎年2,000人近くの卒業生を迎える全国一の大きな同窓会組織になった現在、少人数・小クラスの同窓会のような訳には行かない大所帯の苦しみがあると思う。

現在役員中心に各種事業を行っているが、新成人祝賀会やバスツアーなど有意義な活動の中で全体的な広がりはない。昨年10月20日学院創立120周年記念イベントが“今こそ一校一家”をテーマに東武百

作新学院高等部 P・T・A
会長 **鈴木 義忠**
宇都宮市一の沢1-1-41 ☎028-648-1811

藤田勝春法律事務所
弁護士 **藤田 勝春**〔昭和35年卒〕
宇都宮市清住3-1-14 ☎028-625-3266

をもう一度思い起こし、社会においても優しさをいつも心に置き過ぎてほしいとの名誉学院長船田昌子先生の教えを胸に、社会において作新学院の卒業生として恥ずかしくない活動を行いたいと改めて思いました。来年の学院祭には更に期待して頂けるように同窓生全員の知恵を絞り頑張っております。

今回の学院祭2日間参加出来、母校の発展に寄与することが出来同窓会といたしまして大満足であり参加の機会を頂き感謝いたします。

同窓会が行う平成18年度の行事のお知らせ

同窓会における活動は、同窓生と学校の行事を通し学院発展への協力を図ることと、同窓生の深いつながりの機会を提供する事を主体として、下記の行事を行っております。同窓生の皆様の参加大歓迎であり、多くのご参加をお待ちしております。

年間行事

1. 新年会・成人祝賀会(1月)
2. 常任幹事会(5月)
3. 総会(事業報告、決算報告・事業計画、予算発表・役員改選)
4. 役員会(7月)
5. 創立記念文化祭協力
6. 研修旅行(10月)
7. 同窓会会報発行
8. 常任幹事会(11月)

貨店で開催され、このイベントに1万人近くの来場者があり、皆口々に懐かしい・感動したと話していたことに同窓会の基本があるのかなと思う。多くの同窓生にその一校一家の精神を感じてもらいたい様な活動手法を取り入れ、特に若い人に参加してもらい、120年の歴史に恥じないような魅力ある新たな同窓会作りをしなければと思う。多くの同窓生のご協力を御願いたします。

ホームページご案内

<http://www.sakushin.ac.jp/>

同窓生が集い、交流を深めながら本校についての各種情報などが得られる場として、みなさんと一緒に運用を図っていかうと思っています。ぜひお立ち寄り下さい。



伴印刷

<http://www.bannet.com/>

代表取締役 伴 清〔昭和35年卒〕
常務取締役 伴 誠〔昭和62年卒〕
宇都宮市栄町6-10 ☎028-622-8901

元気の里(特別養護老人ホームケア・ハウス)

理事長 **角田 和之**
施設長 **角田 充由**〔平成5年卒〕
宇都宮市幕田町1456-1 ☎028-655-2611